

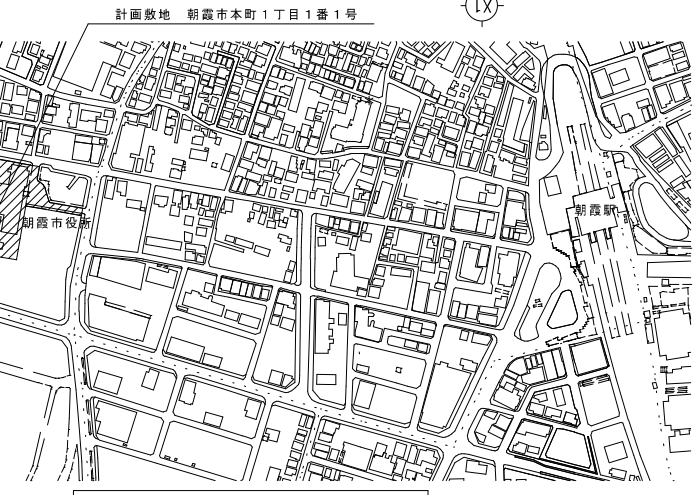
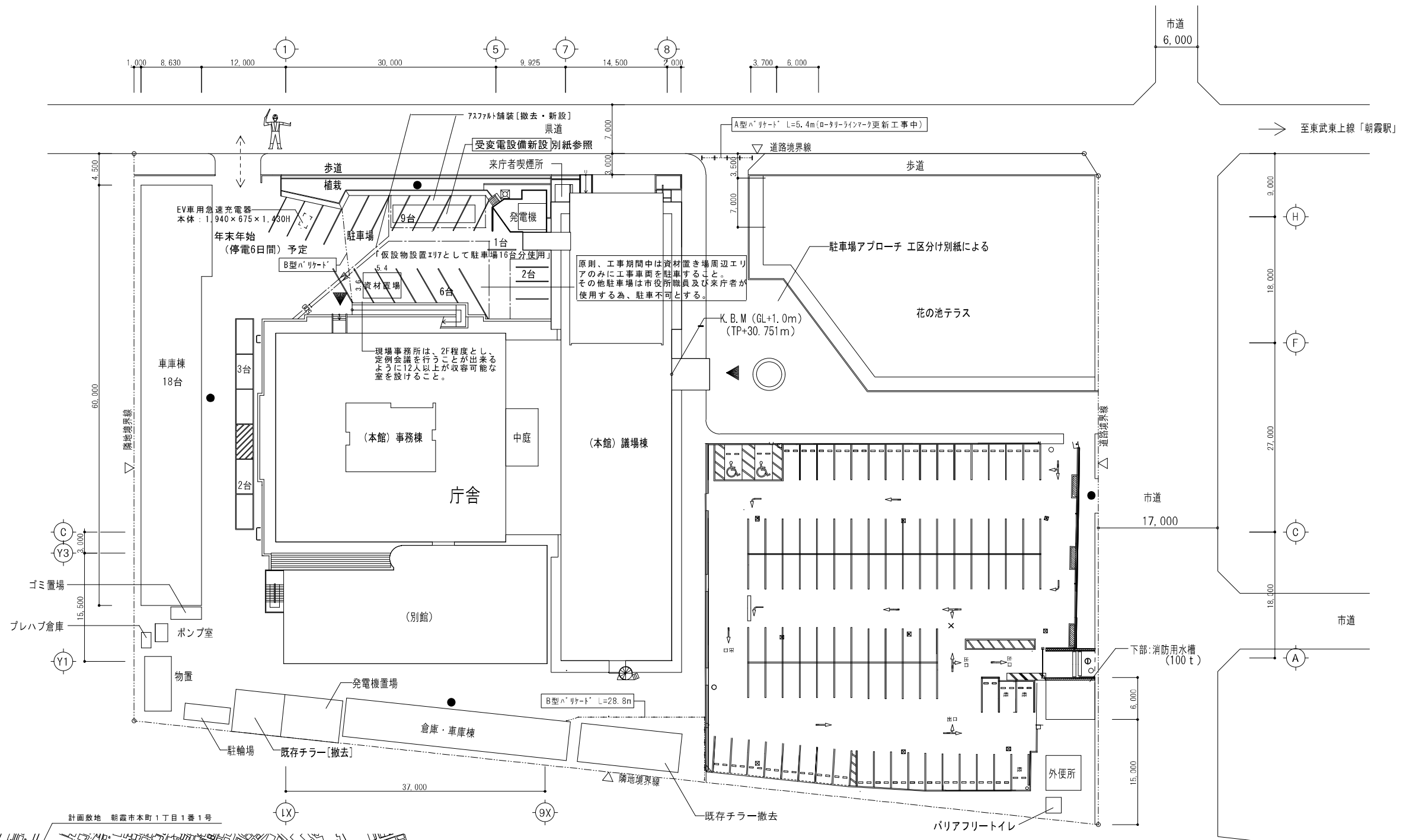
Table with specifications for various construction materials and methods, including sections for curtain, curtain rail, and panel materials. It includes detailed tables for material types, dimensions, and performance metrics like fire resistance and sound insulation.

Table detailing specifications for curtains and blinds, including material types, dimensions, and performance metrics. It includes sections for roller blinds, pleated blinds, and other window treatments.

Table detailing specifications for floor coatings and finishes, including material types, application methods, and performance metrics. It includes sections for various types of floor coatings and their maintenance.

Table detailing specifications for fireproofing and thermal insulation, including material types, application methods, and performance metrics. It includes sections for fireproofing of structural elements and thermal insulation of roofs and walls.

<p>安定処理工法に関する試験 安定処理のCBR試験 (配合試験含む) ・行う ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない</p> <p>・繊維ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強度 ・90N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻¹⁰cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない (試験採取方法 ・表状土 ・現状土) 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締め度の試験 ・行う ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・図示 路盤材料 (改修標準仕様書表9.7.3による種類) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン [G] ・再生粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄線スラグ [G] ・粒度調整鉄線スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄線スラグ [G]</p> <p>舗装の構成 ・図示 舗装の平坦性 ※著しく不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>⑩ 舗装版切断時に発生する漏水の処理 (試験版切断時に発生する漏水の処理に係る特記注釈欄)</p> <p>漏水の処理 1) 受注者は、回収した漏水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 ・図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場へ搬入 (処理に供却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場へ搬入 (処理に供却含む) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら漏水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した漏水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、漏水の処理に関する履行について、産業物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「 manifests」という。) により管理するものとする。</p> <p>提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかに manifests の写しを監督員に提出しなければならないものとする。</p> <p>その他 1) 漏水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に漏水を生じない工法を使用する場合においては、事前監督員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	<p>⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5) 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4(1)表4.1) ・図示による ()</p> <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm</p> <p>⑥ 各部配筋 (5.3.7) ※図示による</p> <p>7 ガス圧接 (5.4.10) 圧接完了後の圧接部の試験 外觀試験 ※行う (全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験 (試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) ・引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(4)(b)による</p> <p>8 機械式継手 (5.5.3.5) 適用箇所 ・図示による () H12建造第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等取得している工法 鉄筋相互の嵌り ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外觀試験 ・試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置</p> <p>9 溶接継手 (5.5.3.5) 適用箇所 ・図示による () H12建造第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 () ・図示による () 鉄筋相互の嵌り ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による () 施工完了後の溶接部の試験 ・外觀試験 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置</p>	<p>③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下)</p> <p>④ 混和材料 (6.3.1) ・ 混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・ 混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による</p> <p>5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()</p> <p>目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による ()</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による ()</p> <p>6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日</p> <p>⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種類 適用箇所 ・ A種 ※図示による () ・ B種 ※図示による () ・ C種 ※図示による () コンクリートの仕上りの平坦さ 種類 適用箇所 ・ a種 ※図示による () ・ b種 ※図示による () ・ c種 ※図示による ()</p> <p>8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・ 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm ・ 外装タイル後張り面の打増し処理 ・ 20mm</p> <p>打増し範囲 ・ 図示による ()</p> <p>⑨ 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ○合板 (※12mm) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・ 鋼材を使用した型枠の使用 適用箇所 ・ 図示による () ・ MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・ 図示による () 打増し厚さ ・ 20mm 打増し範囲 ・ 図示による () スリーブの仕様・規格等 ・ 図示による ()</p> <p>⑩ 軽量コンクリート (6.10.1.2) 適用箇所 ・ 図示による () 種類 ・ 1種 ・ 2種 気乾単位容積質量 ・ 標準仕様書 表6.10.1による スラブ ※21cm</p> <p>11 寒中コンクリート (6.11.1.2) 適用期間 (月 日 ~ 月 日) 構造体強度補正値(S)を算定温度を基に定める場合 ・ 図示による ()、S = ()</p> <p>12 暑中コンクリート (6.12.2) 適用期間 (月 日 ~ 月 日) 構造体強度補正値(S) ※6N/mm² ・ 図示による ()、S = ()</p> <p>13 マスコンクリート (6.13.1.2) 適用箇所 ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 中熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ ファイアッシュセメントB種 ・ シリカセメント 混和材料の使用 ・ あり (・標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)</p> <p>⑪ 無筋コンクリート (6.14.1) スラブ ※15cm 構造体強度補正値(S) ※標準仕様書表6.13.1による 21N/?</p> <p>⑫ コンクリートの単位水量測定 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画適合率の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15kg/m³を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その選搬車の生コンは打放す。その後、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、選搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全選搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、選搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4) ③の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5) 単位水量管理についての記録を書面(計画適合率、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)を写真により提出する。 (6) 単位水量の測定方法は、蒸気加熱乾燥法(電子レンジ法)、174-9法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外機関とする。</p>	<p>① 鉄筋 (5.2.1) 鉄筋の種類 種類 記号 呼び径 (mm) 備考 ○D29 ※ D16以下 ○SD345 ※ D19以上 ・ ・</p> <p>② 溶接金網 (5.2.2) 形状等 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 ○溶接金網 100×100、6φ ・鉄筋格子</p> <p>③ 鉄筋の継手 (5.3.4) 鉄筋の継手方法等 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ※ D19以上 ・ 溶接継手 耐力壁の鉄筋 ・ 重ね継手 基礎、前スラブ、土圧壁 ・ 重ね継手 ・ ガス圧接 その他の鉄筋 (機械基礎) ○重ね継手 D10、D13</p> <p>継手位置 ・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) 基礎梁主筋の継手位置 ・ 図5.2 ・ 図5.3 ・ 図5.4 ・ 図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ ・ 図示による () 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)の)) ・ 図示による () 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等 ・ 図示による ()</p> <p>4 鉄筋の定着 (5.3.4) 鉄筋の定着長さ ・ 図示による () 機械式定着工法 適用箇所 ・ 図示による () 種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 嵌合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による</p> <p>鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図 (配筋標準図) による。これによらない箇所は図示による。</p>	<p>① コンクリートの種類等 (6.2.1) Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート)</p> <p>普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) 設計基準強度 (N/mm²) 気乾単位容積質量 (t/m³) スラブ 適用箇所 ・ 24 2.3程度 ・ 15又は18 ・ 18 ○21 2.3程度 ・ 18 機械基礎 ・ ・</p> <p>構造体強度補正値(S) (6.3.2) ※標準仕様書表6.3.2による 補正値 S = 3 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日) S = 6 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日)</p> <p>② セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は ファイアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・ 高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・1Fより下部 (立上り部含む)) ・ ファイアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ()</p>
<p>10 鉄筋工事</p> <p>① 鉄筋 (5.2.1)</p> <p>② 溶接金網 (5.2.2)</p> <p>③ 鉄筋の継手 (5.3.4)</p> <p>4 鉄筋の定着 (5.3.4)</p>	<p>9 溶接継手 (5.5.3.5)</p> <p>① コンクリートの種類等 (6.2.1)</p> <p>② セメント (6.3.1)</p>	<p>① コンクリートの種類等 (6.2.1)</p> <p>② セメント (6.3.1)</p>	<p>③ 骨材 (6.3.1)</p> <p>④ 混和材料 (6.3.1)</p> <p>5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)</p> <p>6 湿潤養生 (6.7.2)</p> <p>⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)</p> <p>8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)</p> <p>⑨ 型枠 (6.8.2)</p> <p>⑩ 軽量コンクリート (6.10.1.2)</p> <p>11 寒中コンクリート (6.11.1.2)</p> <p>12 暑中コンクリート (6.12.2)</p> <p>13 マスコンクリート (6.13.1.2)</p> <p>⑪ 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>⑫ コンクリートの単位水量測定</p>	<p>① コンクリートの種類等 (6.2.1)</p> <p>② セメント (6.3.1)</p>
<p>株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (4)第9615号 代表取締役 小林 弘 幸 一級建築士</p> <p>日付 記事 承認 照査 設計 設計年月日 件名 市庁舎長寿命化改修工事 縮尺 A1 - AA-006 A3 - 図面名 特記仕様書-6 一級建築士 第193004号 大形 一朗</p>				



案内図 NON SCALE

配置図・仮設計画図

- 本館・別館とも外壁改修あり
 手摺先行枠組み足場w900：巾木付+養生ネット適宜設置
 交通誘導員適宜配置
- : アスベスト除去工事粉塵測定 (4点)
 1F~5F アスベスト除去工事 各2日
 (事前・工事中・事後(養生撤去前)・事後(養生撤去後))
 各1回)計28回見込み
 - 屋外タイル除去 (4点・3種タイル)
 (事前・工事中・事後 各1回)計36回見込み
- <-----> : 工事搬出入
 交通誘導員
 < : カット入れ

設計GL=K.B.M-1000
 既存建物1FL±0=設計GL+1000

株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (4)第9615号 代表取締役 小林 弘幸 一級建築士	日付	記事	承認	照査	設計	設計年月日	件名 市庁舎長寿命化改修工事 縮尺 A1 1/300 A3 1/600 A-001
	図面名 案内図・配置図・仮設計画図(参考)						()内A3表記 一級建築士 第193004号 大形 一朗